

注意点	・専用設備利用のため、実験の無断欠席は認めない。所定の手続きにより、再実験を行う場合がある。 ・レポートは、原則として各テーマ終了後1週間以内に提出すること。不備がある場合は、指定された期間内に再提出を行うこと。 ・レポート未提出、無断欠席者は単位を認めない。						
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	ガイダンス（全体） 前期テーマ：	実験目的を理解し、レポート作成ができる			
		2週	（１）マイコン演習１（前田）Arduinoを用いたマイコン演習	Arduino基礎学習シールドを用いて、Arduino Unoの基本的なシステムを構成することができる。			
		3週	（２）論理回路演習１（梅木）ロジック回路学習ボードを用いた回路実験	基礎的な論理回路を構築し、指定された基本的な動作を実現できる。			
		4週	（３）ソフトウェア演習１（田房・徳田）ヤコビ法による連立方程式の解法	ヤコビ法を用いて連立一次方程式の解を求めるアルゴリズムを理解し、プログラミングで処理できる。			
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週	後期テーマ：				
		2週	（１）マイコン演習２（前田）Arduinoを用いたマイコン演習	Arduino基礎学習シールドを用いて、Arduino Unoの基本的なシステムを構成することができる。			
		3週	（２）論理回路演習２（梅木）ロジック回路学習ボードを用いた回路実験	与えられた仕様に合致した組合せ論理回路や順序回路を設計できる。			
		4週	（３）ソフトウェア演習２（田房・徳田）数値積分と非線形関数の描画、行列による連立方程式の解法	非線形関数の描画と数値積分の仕組みを理解し、プログラミングで実現できる。線形代数の知識を活用して、連立方程式を解くことができる。			
		5週	課題整理、プレゼンテーション	実験の成果物をレポートとしてまとめ、プレゼンテーション形式で発表できる。			
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
評価割合							
	レポート	発表	成果物・実技	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	30	10	30	0	0	30	100
知識の基本的な理解	30	0	15	0	0	0	45
思考・推論・創造への適応力	0	0	15	0	0	0	15
態度・志向性（人間力）	0	0	0	0	0	30	30
プレゼンテーション力	0	10	0	0	0	0	10